

広報

ふじかわ



2月号

●平成2年2月5日発行 No.343

町のメモ

平成2年2月1日現在	
人口	17,461人
増減	+68人
男	8,607人
女	8,854人
世帯数	4,656世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵 121



自分との戦いが始まる

(第一小学校マラソン大会)

町のここの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」

ふじかわの子どもたち

名作は今も楽しい

昔からの遊びにチャレンジ

人間社会で最も大切なことは、まわりの人たちと、うまく協調して生活できる知恵をもつことだと思います。

最近、ファミコンやパソコンなどを通じて、機械の操作に強く、自分の意見をはっきり言える子どもたちが増えています。しかし反面、まわりに協調できず、深刻に悩む例も多々みられるようです。これ

ものです。特に子どもたちにとって「遊ぶこと」は「集まること」なのです。みなさんも子どもの頃、路地や空地に近所の子どもたちが集まり、色々な遊びで楽しんだ経験があると思います。この遊び仲間は家庭や学校の仲間とは性格が異なり、子どもたちが遊ぶことを目的に集まって形成され、「がき大将」もいれば、

それについて子どももいるという関係がみられました。また、年齢も多様で、上下の温かい関係も生まれました。

何をするかは、子どもたちの創意と選択に委ねられて、昔から伝承されてきた「かくれんぼ」「たこあげ」「石けり」「めんこ」「ビー玉」など、たくさんの遊びをみんなで楽しみました。このような集団の遊びの中から、手加減のない仲間同士のきまりを守ったり、ゆずり合いの精神などを、知らず知らずの

うちに身につけてきたのです。このように、子どもたちは集団での遊びを通して、自分を抑え、ルールを守って、仲間との調和を考えて行動することを学びとっていきます。しかし、近年ますます、集団での遊びがなくなり、遊びの個別化が進んでいます。この原因には、遊び時間や遊び場所の減少、テレビの普及など問題点は多くあります。

町立第一小学校では「富士川活動」という名称で、一年生から六年生までをたてわり集団で班をつくり、富士川合戦などの活動をしています。この活動の一環として、家族の人や近所のお年寄りの方から、昔の遊びを教えてもらいたく、かんぼつくり、カルタなど、自分たちで遊ぶ道具を一生懸命作っています。

この活動の様子や昔の遊びを紹介しますが、まだまだ楽しい遊びがたくさんあると思います。みなさんも、ぜひ、子どもたちといっしょに遊んでみてください。

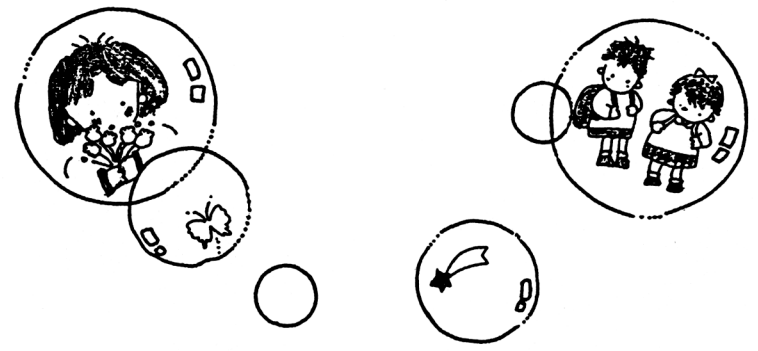


富士川活動

町立第一小学校

冬休みの間に子どもたちは、お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんから、昔のいろいろな遊びを教えてもらい、たくさん遊びを知ることができました。

たてわり集団の各班では、みんなで持ち寄った「昔の遊び」の中から、自分たちで製作して遊べるものを選んでみました。かんぼつくり、わりばし鉄砲、ビー玉、カルタ、たこなど、いろいろな昔からの遊びにチャレンジ。遊び方を知らない子どもたちも多かったようですが、みんなで役割分担を決め、一年生が困っていると六年生が手伝ってあげたり、失敗しても自分たちで意見を出し合い、創意工夫して製作が進み、各教室は子どもたちの歓声でいっぱいです。



自分でつくることも 楽しい遊びです

凧を製作している班では、黒板に大きな設計図がはられ、それを参考にしながら、自分の凧が大空に高く飛ぶ姿を想像しながら、凧をつくっています。「形が大切なんだよ」と言いながらハサミを動かしたり、ナイフで骨になる竹を削ったり、巧みに凧ができあがっています。

このように、自分で独特の特徴をもった遊ぶための用具をつくるのが、子どもたちにとって、楽しい「あそび」になるのです。

人気が高い かんぼつくり

人気が一番高いのがかんぼつくりで、空カンを利用して簡単にできます。空カンを二つ用意し、おのおの二箇所穴をあけ、そこにひもを通して結び完成です。子どもたちは自分のかんぼつくりがで

待ち遠しい あそび大会

この他、わりばし鉄砲、竹とんぼ、竹うま、めんこ、すごろくなどの遊びが取り上げられています。子どもたちは各班の自主性により開かれる「遊び大会」に向け、その時に競い合う道具づくりに、懸命に取り組んでいます。



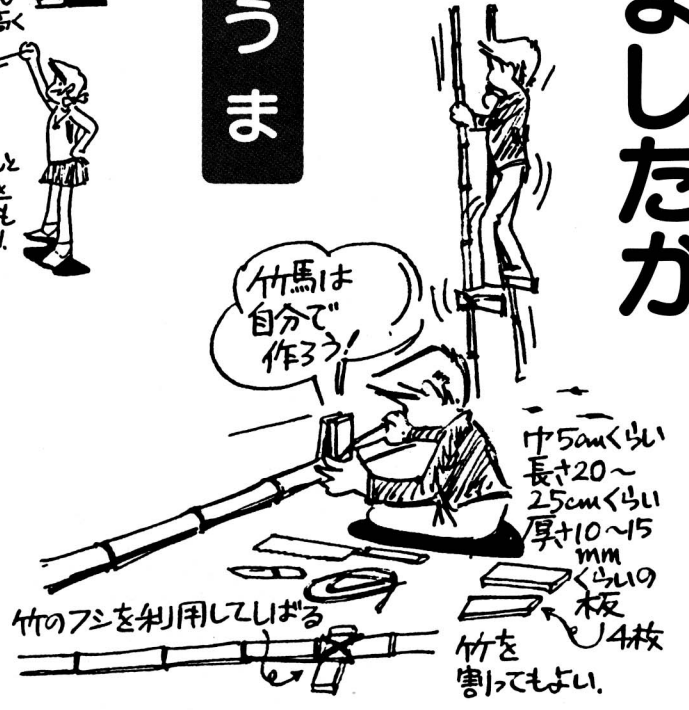
どんな遊びをしましたか

みなさんも子どもたちといっしょに遊んでみると、きつと、子ども時代に心おきなく遊んだ「あそび」と、遊びにふけた仲間たちが、楽しい思い出として浮んでくることでしょう。



かんぼつくりで歩くとリズムカルな音がってきます

竹うま



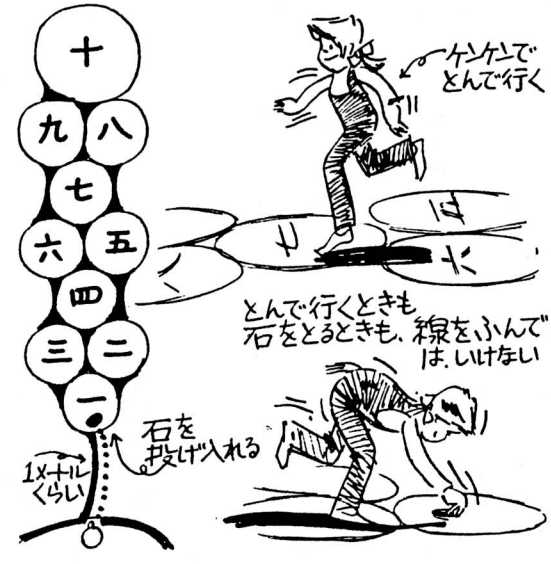
ゴムとび

ゴムの高さは、足首の高さから始め、だんだん高くしていき、ゴムにふれないように飛びます。腰の位置よりゴムが高くなると、片足をゴムにひっかけて、ゴムを下にさげ、飛んでもいいのです。

かくれんぼの応用編

決められた場所にカンをおいて、鬼にみつからないように、カンをけとばす。この時鬼につかまっていた全員が逃げられます。鬼は缶をもとの場所へ置き、また探しに行きます。全員がみつかったら、一番はじめにみつかった人が鬼になります。

缶ケリ



石けり

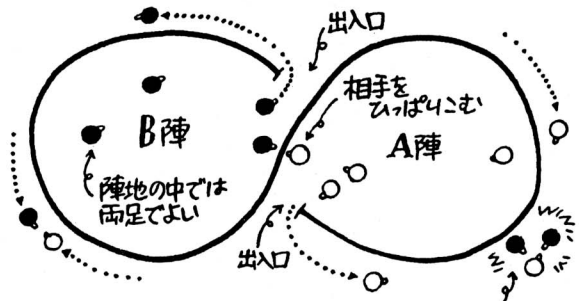
上手にけれ石は宝物

図のように円を描き、自分の石を①に入れ、数字の順にケンケンをして②までもどり、自分の石を取ります。このようにして⑩まで早く行った人が勝ちで、自分の石が円外に出たり、線を踏んだり、両足が地面についたら、次の人と交代。



宝をおいて取りあってもおもしろくなります

人数が多いほど、おもしろい。大きなS字を描き、2組にわかれ、お互いに相手側を自分の領地に引き込んだり、出入口から出て、相手の領地へ入り外へ押し出します。S字外で両足をついたり、領地から押し出されると、ゲームから外れ、全員がいなくなった組が負けになります。



Sけん



生涯学習の窓

責任ある言動で充実した人生を 二百七十七人の成人を祝う

好天に恵まれた平成二年一月十五日「成人の日」、富士川町中央公民館において、新成人二百七十二人が出席し、「第三十九回富士川町成人式」が行われました。

新成人「高岡奈津美」さん（清水町）のピアノ伴奏で国歌の斉唱をしたあと、常葉町長が「成人ともなれば権利が与えられるとともに、義務を果さなければならぬ。科学や文化が急テンポで向上し『生涯学習』の大切さが言われる時代、二十一世紀を担う富士川町のリーダーとして、大人としての責任をもち精進され、悔いのない人生を築くことを希望する。」と式辞、つづいて

の来賓の祝辞に答えて、新成人の代表者二名が「はたちに想う」を発表し、大人への決意を新たにしました。

また、成人式に先立つ十四日(日)には、祝成人駅伝競走大会が行われ、初参加の「中野台チーム」をはじめとして六チームが健脚を競い、南町一・二区が優勝をかざりました。

行動に確信をもてる人に



山口弘輝さん (富士松野)

成人式を迎え、二十の誕生日をもうすぐ迎えるにあたり「もう子供じゃいられない。大人としての自覚をもたなければ」と、近頃つくづく考えるようになりました。

確かに二十歳の誕生日というものは、十八、十九、いや二十一の誕生日と違い、何か一生涯のことのない新鮮

なものを感じます。しかし、頭でいろいろ考えていても、本当に成人としての自覚が生まれるのだろうか。また、それに伴った行動ができるようになるのだろうか。非常に不安です。

現在、私は東京で一人暮らしをしています。金銭的負担は完全に親にしてもらっているうえに、行動面においてもいざという時には、少なからず親の判断に頼っているのが現状です。この甘えをなくさない限り、これから先、成人として社会に通用していけない人間になると思います。

また、二十歳になると政治に参加することができるよう。飲酒、喫煙が公に認められる。保護者の承認がいらなくなるなど様々な権利も与えられます。

しかし、これらの権利は、全て大人としての責任の上になり立つものであると思います。私は、この「権利と責任」を与えられるに恥じないだけの自分の行動に確信を持てる人間になるようがんばります。



常に向上心をもって



阿部明美さん (相生町)

人類が初めて月面に第一歩を印した年に、この世に生を受けた私も二十歳、竹に節があるように、社会人としての節目を迎えることができます

親権からの独立が許され、自分の意志で結婚ができ、参政権も与えられます。貴重な権利、義務を獲得すると同時に、社会から責任ある行動を期待され、常に社会の厳しい目が伴います。

生まれた時から経済的繁栄の中で生活し、親の愛情を一身に受け、充分な保護を受けて来た私達は、これからの長い人生の中で失敗や失態をする度に、悩み、挫折感を味わい、自己を見失うこともあると思います。体は一人前でも精神的にはまだまだ未熟な私達、歯痒く思われることがあると思いますが、温かい眼差し

して、御指導をお願いします。今日の社会は、情報化社会といわれ、マスメディアの発達により、様々な手段で多くの情報を得ることが可能です。このような時代の中で、私達は、それが正しく且つ必要な情報なのか、という選択能力も身につけていかなければなりません。

二十一世紀を担う私達の使命を全うするために、また、精神的に充実した人間になるために、常に向上心をもってあらゆることに挑戦していきたいと思えます。

今日のこの日を人生の新たな出発点とし、精一杯生き抜いていくことを誓います。

軽スポーツ紹介

トリム運動

トリムというのは、もととは船が海上でバランスをとるといった、ノルウェー語ですが、これが転じて、身体的にも、精神的にも、良好な状態を保って、バランスをとろう、バランスを回復しようという意味に使われています。そして、健康なからだをつくるための身体運動を実践させる推進活動を「トリム運動」と呼んでいます。



「あなたは、健康に自信がありますか。そう問われて、いったい何人が「はい」とすぐに答えることができるでしょうか。」

現在、多くの人が直接的間接的に運動不足が原因で医師の治療をうけ、あるいは

は身体異常を訴えています。毎日、寒い日が続いています。冬は、どうしても室内に閉じこもりがちになってしま

います。わずかな時間でも外に出て、新鮮な空気を胸いっぱい吸いこみさわやかな気分になるように、あなたも家族と一緒に、友達と一緒に、家のまわりの人達と一緒にトリムを楽しみましょう。

運動はどんな種類でもかまいません。歩いてもよく、走ってもよく、体操してもよく、また、どんなスポーツでもよいのです。ただし、自分のからだにあった運動でなければなりません。

今こそ本当の意味での体力づくりが求められています。『自分の健康は、自分で守る。』



図書室だより

あわただしくすぎていく日々を、より充実した確かなものにするために、一日を静かに振り返る時間、読書をする時間を持つてみてはいかがでしょうか。

本を読むことは心を健康に豊かにしてくれます。今興味を持つている事に関係した本から始めて、自分に合った本をみつけ一冊二冊と読み進めていけば、読書は習慣として身につけてしまいうでしょう。

図書室ではいろいろな分野の本を揃えてみなさんの利用をお待ちしています。読みたい本をリクエストすることもできます。気軽にご利用ください。新しく購入した図書の一部を紹介しましょう

◎新刊図書コーナー

- 半分の過去 赤川次郎
- 落第坊主の履歴書 遠藤周作
- 鬼と人と 堺屋太一
- 時間の砂 シドニー・シエルダン
- 翔ぶが如く 司馬遼太郎
- 人生余熱あり 城山三郎
- 坂道を越えた国 高橋三千綱
- 裸足の皇女 永井路子
- 黄金の海へ 津本陽
- 碑夜十郎 半村良
- 運命 藤原てい
- 歳々年々 安岡章太郎

◎児童図書コーナー

- ゆうかななアイリーン
- きいろいじてんしや
- めだまのぐり
- 三日間ボクかじします
- どうぶつのおしがたずかん
- へんてこな一週間
- サムライでござる
- ミステリーゾーン進学塾
- 日曜日の手品師
- きつと明日は

生涯学習の窓



2月～3月の予定

- [2月]…文珠祭(大北区)…2月25日(日)…10日(土) 県立大学公開講座 (静岡県的人物史)
- 11日(日) 三世代交流事業(手うちそば作り) —宇多利・松野児童館—
- 14日(水) 県立大学公開講座…閉講式
- 15日(木) 新一年生一日入学(二小)
- 17日(土) マラソン大会(二小)
- 家庭教育学級閉講式(さくら台幼)
- 21日(水) まきの木大学学習発表会 —中央公民館—
- 23日(金) 新一年生一日入学(一小)
- 24日(土)・25日(日) 地震防災展 —中央公民館—
- [3月]…荒沢不動尊例祭…3月4日(日)……大観音大祭…3月17・18日(土・日)…
- 2日(金) 一日入園(一幼)
- 4日(日) 婦人まつり —中央公民館— 富士川町インディアカ大会 —社会体育館—
- 9日(金) まきの木大学閉講式
- 16日(金) 幼稚園卒園式(一幼・二幼)
- 18日(日) 体育館婦人バレーボール大会 —社会体育館—
- 19日(月) 卒業式(一小・二小)
- 20日(火) 卒業式(一中・二中)
- 25日(日) 子ども人形劇場 (みにくいアヒルの子)
- 26日(月) 保育園卒園式

富士川町インディアカ大会の参加チームを募集します。一月二十三日までに教育委員会事務局へ ☎八二一—二二—



広げよう 松野の朝に おはようを

地域ぐるみで あいさつ運動の実践



松野地区の幼稚園、小・中学校では、あいさつ運動を進めています。そこで、松野地区生徒指導対策協議会（白井由夫会長）では、同地区の児童・生徒から標語とポスターを募集し、優秀な作品を表彰しました。その中で、第二中学校一年の三島由美さんの標語「広げよう、松野の朝におはようを」をステッカーにして、各世帯に配布し、これから地域ぐるみであいさつ運動を実践していきます。

ポスター 最優秀賞の高岡舞子さん
(第2小学校6年)の作品

私の提言



高級住宅エリアの開発を 前本州製紙株岩淵工場長

渡辺正毅さん

私は昨年十二月に富士川町を去り、岐阜県の中津川市に移りました。二年半の富士川町の生活の中で、風光明媚な土地と現在の日本人が失いつつある「心」をもった暖い人情、そして温暖な気候に惚れ込んでしまいました。将来、会社の勤めが終わったら、ぜひこの土地で余生を送りたいと思っています。

富士川町は、東京から新幹線で一時間十五分。東名道路網も完備され、明らかに東京圏内にあります。近い将来、リニヤモーターカーが走行することになると、この地域は

東京の生活圏になると思います。したがって、私はリゾー卜地区としてよりも、高級住宅エリアとしての開発を提案します。そうなった場合、富士川地区に住む東京人は、税金の面でも、町の財政に大きく寄与するものと思われます。

また、彼等の文化的生活風土は、町の文化や風土に大きく影響し、町発展の起爆剤になるかと思われます。したがって私は、この様な方々にターゲットを絞って、良質で広大な住宅地を提供されることをお薦めします。

地域は、木島・小山地区の

緩傾斜地が最適ですが、農振地域の関係もあり、早目に施策されることを望みます。

私自身、東京に土地・家をもち、長く生活してきたので、東京が既に人の住む場所でないことを、イヤというほど知っています。特に、最近の東京の水の悪さは目に余るものがあります。この水の点でも富士川町は非常に恵まれ、まさに垂えんの地であります。

富士川町の恵まれた環境風土が生かされ、田園調布などをしのぐ最高住宅地として開発されれば、需要は必ずや充分あると考えられます。

また、この様な開発ができましたら、もう一度富士川町に帰り、住まわせて頂きたいと思っています。

田のぶがぼう

お正月の初笑い 新春ふじかわ寄席

1月14日(日)、富士川町中央公民館で、新春ふじかわ寄席が開かれ、会場いっばいにつめかけた人たちは、桂歌丸師匠の落語「おすはどん」で楽しみました。

最後に、歌丸師匠のサイン入り色紙と年賀手ぬぐいの抽選会が行われ、当選者は大喜びでした。



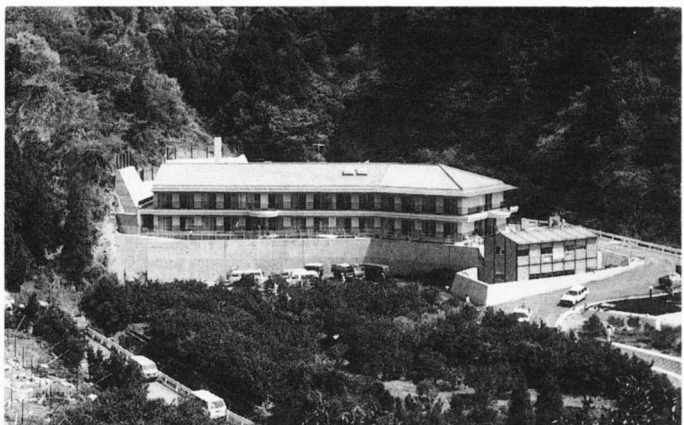
熱演する桂歌丸師匠

特別養護 老人ホーム

「好日の園」で スプリングカラーを設置

「好日の園」は、わたさりの老人や痴呆老人などを介護する施設で、蒲原町神沢に昭和六十二年五月からオープンしました。現在、約五十人のお年寄りが入所していますが、火災の時、自力で脱出することが困難なため、スプリングカラーの設置が計画されました。

総事業費は約三千万円で、この内、財団法人船舶振興会から千五百六十万円の補助が決定し、工事は二月二十八日には完成する予定です。



1月の交通事故

人身事故	4件(12)	合計	15件(20)
物損事故	11件(8)		
富士川身延線	6件(7)		
国道一号线	4件(3)		
町道	4件(7)		
県道	0件(2)		
その他	1件(1)		

() は昨年

富士川短歌会(天野徳二先生選) 一月詠草

老いし吾壁破られて民主国へ
人なだれ入るをテレビに見つむ
外灯にこまかく光り群をなし
黄葉散る見ゆ墓地下の道
前山の杉の木立を透かしつつ
朝の光の霜の田に散る
一生を海に生き来て皺ふかき
我六十九の似顔絵描かす
敷薬に霜しろじろと庭先の
ボタンいつしか赤く芽吹きをり
亡き父の転戦の地をたしかめむと
子は中国へ旅立ちゆきぬ
百八の煩惱拂う除夜のかね
余韻は町を縫い響きゆく
収穫に追はれ四十年過して来て
蜜柑なき正月を今日迎へたり
吹き溜まる松葉の上に積む雪に
足を濡らして歩み柔らかし
人並のねがいもかない老二人
新しき年を喜びてむかふ
仰きみて心遊ばす冬の空に
一羽の鷹がゆるく舞ひゆく
袖香る風呂に浸りて十年來
東京に下宿する子らを思えり
旗雲の輝きのぼる日にむかふ
ベルリンの壁こぼたるる今朝
門清む汐花汲みし幼なき日の
波白くたつ其の汐の花
ひとり住む娘も降りて新年の
九人家族はただただ賑わし

上町	望月 晴子
四十九町	塩川 恒子
南町一	佐野 節子
焼津	天野 徳二
宮町	若月 幸江
相生町	藤沼 満
新町	深沢千代子
木島	角替千鶴子
四十九町	入月 弘子
相生町	川口 久代
本通一	桐谷 静子
四十九町	村山 越子
舟山町	望月 八代
富士見町	佐野いそ江
旭町	吉田 令子

戸籍の窓

平成元年12・15

平成2年1・14届出分

(敬称略)

かなしみ

おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
舟山町	齋藤真里奈	孝彦	長女
"	望月美由紀	正三	長女
新崎	佐藤弘樹	重孝	二男
大楽窪	鈴木莉加	正行	長女
本通三	齋藤咲英	彰一	長女
本通四	蓮池 咲	暁	長女
東町一	原田直輝	幸男	長男
東町二	早房周人	弘之	長男
草嘉町	堀澤佳世	正洋	長女
中野台	幡手龍二	辰博	二男
中野台	佐々木 一	美孝	長男

区分	氏名	年齢
相生町	柳下 邦子	四八
吉津	菅野マツヨ	八九
舟山町	中山 龍雄	七七
舟山町	望月二三生	五七
坂下	太田 竹藏	八三
堺町	荒木 秋子	七六
新町本町	伊藤 虎雄	七四
宮町	北條 貞作	七三
小池	土橋 元次	七一
本通三	田邊 増男	五四
東町一	大石由美子	三〇
南町一	小泉 治雄	五四
南町二	小林 松雄	七八
南町二	芦川 和作	七八

最近とかく世間を騒がせているのが、地球環境の問題だ。

一里塚



老人福祉へ
十万円 小林政一(南町二)

上野直記(南町一)
十四万九千百円

大北町 芦澤道之助 七三
町への寄付金

(敬称略)

社会福祉事業へ

五万円 佐野一郎(大北町)
三万円 立正佼成会富士教会
五万円 菅野重行(吉津)
障害者福祉へ



お母さんの"知恵袋"

晴着の手入れ

たぐいまれなる美しい民族衣裳として、世界的にも高く評価されている着物は、私たちの誇りです。お正月、成人式などで着物をきる機会が多い時期です。外出すると、ほこりや汚れがつき、湿気もよびます。そこで、帰宅したらハンガーに掛け、一晚風を通します。衿のファンデーションの汚れは、ベンジンをガーゼに含ませ、たたくように拭いておきましょう。ほこりは乾いた新しいタオルを丸めて、ていねいに払い、帯の汚れは食パンの耳を取り、柔らかい所で落します。最近では、しみ・汚れがつかないヒットガード加工もありますので、前もって加工しておきましょう。(婦人会 川口)

地球の砂漠化、森林の消滅、さらには酸性雨、フロンガスなど、僕たちの住んでいる地球は傷ついている。僕たちは、これまで多くのものを犠牲にして、今日の豊かな生活を築いてきた。しかし、この傷ついた地球は、僕たちの子どもや孫の時代まで持ち堪えることができるのだろうか。僕たちが今すべきことは、子どもたちのために、この傷ついた地球を回復させ、心地よい環境、豊かな自然を取りもどすことだ。そのためには、自ら多くの代償を覚悟しなければならぬ。頑張りましょう。(武内清高)